

相模原発!真空技術が創る豊かな未来



株式会社 昭和真空
SHOWA SHINKU CO., LTD.



水晶振動子や光学部品など、デジタル社会に不可欠な基幹部品の生産を支える真空装置メーカー・昭和真空。創業以来培った高度な真空技術は、スマートフォンなどの周辺機器から宇宙開発に至るまで幅広く活用されている。相模原から世界へ。未来を形づくる昭和真空の軌跡を辿ってみよう。



ハイエンドスマホカメラ レンズ用真空蒸着装置

材料を気化蒸発させ、スマホレンズにナノレベルの薄い反射防止膜を形成する装置。スマホでもキレイに写るは、この技術のおかげ。

世界
トップクラス
シェア



水晶デバイス用周波数調整装置

主にスマートフォンに使われる電子部品である水晶デバイスの周波数を高い精度で調整。省スペース、高精度、高生産性を実現。



スマートフォン活用例



身近にある真空技術

大気よりもはるかに低い圧力状態を作り、酸化や不純物を排除し、究極のクリーン環境を実現する真空技術。半導体をはじめとする薄膜形成などの精密加工に欠かせない基盤技術だ。スマートフォンのカメラやICチップ、車の安全センサーなど、身近な高性能製品を目に見えない領域から支えている。



反射防止膜 (ARコート:Anti-Reflection coating)

光の反射率を減少させ、表面への映り込みを低減させるための光学薄膜。スマートフォンなどのカメラレンズなどに採用されている。



100年企業 次の一歩 CREATE THE FUTURE

世界シェア80%を誇る独自の技術を武器に、AIや宇宙という新領域へ挑みます。受け継いだ理念を大切に、目指すのは「小さくても強い会社」。世界を豊かにする存在価値を追求し、ニッチ分野のリーダーとして、誇りを持つ会社を築いていきたいですね。
代表取締役 執行役員社長
田中彰一さん

スマート社会の先へ 真空技術で支える豊かな未来



上場から25年。スマートフォンなどの技術革新と共に組織も進化し、現在は若き経営陣が舵を取っています。使命は「お客様の喜び」と「社員の幸せ」。長期的視点で、次世代の若手と共に、一歩ずつ確かな成長を刻んでいくことが、私の変わらぬ願いです。
代表取締役 執行役員会長
小俣邦正さん

2025年

上場25周年記念式典を東京ベイ舞浜ホテルで開催
従業員とその家族約350名が式典に参加。朝食や抽選会を開催し、会長スピーチはわずか30秒という短さで会場を沸かせた。式典後はディズニーリゾートへ。



AR (Augmented Reality)

現実世界とデジタル情報を融合するAR(拡張現実)。多様化が進む次世代端末にも真空技術が活用され、高精度な表示性能を可能にしている。



2020年

経済産業省認定「グローバルニッチトップ企業100選」に選定
世界シェアを誇る水晶振動子製造工程用「周波数調整装置」が評価され、ニッチ分野で10~20%以上の高いシェアを有する企業のひとつとして経済産業省から選定される。



2010年~

スマートフォンの普及
2007年に初代iPhoneが登場し、2010年代には4Gの普及とともにスマートフォンが急速に生活へ浸透。時代とともに水晶デバイスも小型化し、真空技術の存在感を高めていった。



2008年

設立50周年式典を東京ディズニーランドで開催

2006年

経済産業省「明日の日本を支える元気なもののづくり中小企業300社」の一社に認定



2020年~

5Gがスタート
4Gの約20倍の通信速度を誇る、新しい通信方式である5Gがスタート。重要部品には、昭和真空の真空技術が引き続き活用され、その性能向上に不可欠な役割を果たしている。

2018年

経済産業省「地域未来牽引企業」選定



2014年

水晶振動子用周波数調整装置「SFE-B03」が、第31回神奈川工業技術開発大賞 ビジネス賞を受賞

社員さんに聞く

こんな仕事をしています!



営業部 / 井上留美さん
入社1年目で営業部に所属しています。社内外をつなぎ、装置の提案や調整に奔走する毎日ですが、商談につながった時は、やりがいを感じます!一日一つの積み重ねを大切に、信頼される営業を目指していきたいです。



人事総務部 / 新穂壮一郎さん
人事総務として、採用や施設管理まで幅広い業務を担っています。式典運営を任せられた際、「ありがとう」と声をかけていただき、役に立てた喜びを感じました。挨拶が響く温かい職場で、皆さんに頼られる存在になるのが目標です。



開発部 / 築瀬健介さん
お客様の課題を解決する成膜装置の開発を担当しています。ナノメートル単位で膜の厚さを自在に制御する技術が、製品に活かされるのを実感できるのがこの仕事の醍醐味。若手と共に、次世代のスタンダードを創り上げたいです。



現場の支援者として

生産部 / 中川寛仁さん
プロセスの改善や標準化、品質チェックを通じて、現場の安定稼働を支援しています。品質と効率の両立は課題ですが、最適化を達成できる瞬間が仕事の面白さでもあります。信頼関係を大切に、何事にもポジティブに向き合いたいですね。

地元スポーツを応援しています!



昭和真空はスポンサーとして、「SC相模原」や「三菱重工相模原ダイナボアーズ」など地元スポーツを応援!地元企業として、スポーツ振興を通じた町の活性化にも力を注いでいる。

私たちと一緒に働きませんか

昭和真空ではスマート社会を支える仲間を募集しています。グローバルニッチトップ企業の一員として、豊かな未来と一緒に創りませんか?

株式会社昭和真空

所 相模原市中央区田名3062-10
☎ 042-764-0321(採用担当)



昭和真空 100年

2002-2003年

中国上海市に昭和真空機械(上海)有限公司・昭和真空機械貿易(上海)有限公司を設立



2000年
年商100億円突破
株式をJASDAQ(店頭)市場へ上場

1990年~

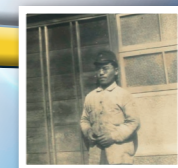
PHS・携帯電話の普及
1990年代、携帯電話のスリム・軽量化が進み、デジタル化の波とともに利用者が急増。その普及期から、昭和真空の装置で生産された水晶デバイスが採用され、携帯通信の進化を支えてきた。

1984年

MCFクリスタル周波数調整用真空蒸着装置「SFC-71M」が第1回神奈川工業技術大賞を受賞

1967年

油回転ポンプ「MP-250」神奈川工業展にて優秀賞受賞



1953年

前身となる「小俣真空機器研究所」を設立
創業者・小俣守正が真空ポンプ会社から独立し、真空ポンプの修理を始めたことがその始まり。その後、修理業から製造業へと事業を発展させ、1958年に昭和真空機械株式会社を設立。

1991年

中小企業庁モデル工場に指定される

2000年~

携帯電話の多機能化
2000年代は携帯電話の機能が飛躍的に進出し、3G通信や電子マネー機能が登場。カメラ付き携帯電話には、昭和真空の装置で成膜されたカメラレンズが使用され、高性能化に貢献。